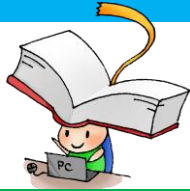


家庭学習を組み込んで進める主体的な学び（地理）



今後、第2波等により、再度の臨時休業や分散登校になったとき、家庭学習の機会も多くなると思います。学校の授業以外で学習する場面を効果的に組み込み、課題を追究したり解決したりする学習活動をデザインしてみました。

【单元名】世界の諸地域（南アメリカ州）（中学校第1学年）

目指す姿 (イメージ)	知識及び技能	南アメリカ州に暮らす人々の生活を基に、南アメリカ州の地域的特色を大観し理解する。
	思考力、判断力、表現力等	南アメリカ州で見られる森林伐採の要因や影響を、地域の人々の生活と関連付けて多面的・多角的に考察し、持続可能な開発に関わる一般的課題として表現する。
	学びに向かう力、人間性等	よりよい社会の実現を視野に、南アメリカ州で見られる森林の伐採と開発という課題について、自ら関わる問題として捉え、主体的に追究しようとする。

課題の設定

生徒の実態を把握し、興味・関心等から、課題意識をもたせる。

2枚の衛星画像を示し、変化の理由を予想する。

A

開発前の森林の様子

B

開発後の森林の様子

⇒課題の共有
「アマゾンの熱帯雨林はそのまま開発されてもいいのだろうか？」

情報の収集 整理・分析

必要な情報を取り出したり、収集したりする。また、収集した情報を整理したり分析したりして思考する。

グループごと、あるいはグループ内の個人で役割を分担し、主体的な情報収集を行いましょ。

視覚的に情報が伝わるよう、ホワイトボードや電子黒板等を活用し、情報の共有を確実に行いましょう。

情報の整理の例

環境保護の視点

- ・二酸化炭素排出量が増え、地球温暖化が進んでしまう。
- ・動植物の生態系が変化し、先住民の住む場所が失われる。
- ・観光業が打撃を受ける。

自然開発の視点

- ・開発が進むと鉱工業が発展、エネルギー生産量も増える。
- ・労働者は、働く場所や収入が増え生活が豊かになる。

まとめ・表現

自分の考えをまとめ、表現する。互いに読み合い、よりよい意見の述べ方を考えて判断し、相互に評価する。

地球温暖化への影響や、生態系への影響を考えたら、さらに森林を開発すべきではないと思う。

生徒

農業や鉱工業の発展によって人々のくらしが豊かになったのだから、森林の開発は続けても良いと思う。

生徒

振り返り

⑧南アメリカ州の自然開発を通して考えた、「環境保護と自然開発の在り方」について、持続可能な社会づくりの視点で意見文を書く。

①南アメリカ州の地理的特徴をつかみ、課題を捉える
学習対象との出会いは視覚的な工夫を行う。（電子黒板等の活用）

子供たちと学習対象との関わり方や最初の出会わせ方が重要です。自ら関わる問題として捉えさせるために、課題に対する自分の意見を持たせましょう。

②課題に対する意見を持つ
家庭学習において、課題に対する自分なりの意見をつくる。

③自然環境との共生について調べる
アマゾン川と熱帯雨林での人々の営みについて調べ、情報を整理する。

④産業の変化について調べる
企業的大規模農業の発達、バイオエタノールの生産、鉱産資源の開発と工業化、日本との関わりについて調べ、情報を整理する。

⑤調べた情報を共有・整理する
家庭での学習につなげられるよう、調べた情報の共有と整理を行う。

家庭で整理が難しい生徒を想定し、事前の支援の手立てを準備しましょう。
例：書き出しを設定する、事前にノートやワークシートをチェックし、情報を一緒に整理する等

⑥課題に対する自分の意見の検証を行う
単元の序盤でつくった自分の意見について、学校で得た情報をもとに家庭学習で検証し、自分の言葉で課題に対するまとめを書く。

⑦議論、討論を行う
開発の是非、環境保護と両立した開発の在り方について、学級やグループで意見を出し合う。

それぞれの意見が、どういった立場の人々の願いを形にしたものなのか整理してみよう。そして、他の地域の取組も参考にしながら、環境保護と開発を両立する方法を考えてみよう。

教師

学校で
家庭学習で
学校で
家庭学習で
学校で
家庭学習で

家庭学習を組み込んで進める主体的な学び（公民）



今後、第2波等により、再度の臨時休業や分散登校になったとき、家庭学習の機会も多くなると思います。学校の授業以外で学習する場を効果的に組み込み、課題を追究したり解決したりする学習活動をデザインしてみました。

学習活動の重点化の視点等に係る考え方（社会科公民的分野）

学校の授業以外の場で取り扱うことが考えられる学習活動

- 学校の授業で取り扱う学習活動を踏まえ・・・
- 情報を収集して読み取る活動
- 読み取った情報を基に考察、判断した結果を表現する活動

授業での主体的な学びの準備（予習）や、課題に対して考察、判断した結果をノート等に表現する活動等が想定されます。

対策

学校の授業で取り扱うことが望ましい学習活動

- 日常の社会生活と関連付けながら具体的事例を通して、政治や経済などについての基本的な考え方や概念、生徒や仕組みの意義や働きについて理解する活動
- 議論などを通して互いの考えを伝え合い、自らの考えや集団の考えを発展させる活動



【単元名】これからの人権保障（新しい人権）（中学校第3学年）

課題の設定

単元を通じた学習課題
「これからの時代、どのような人権が守られるようになるだろうか？」

- ①単元を通じた学習課題を捉える活動（授業）
人権が損なわれた事案について扱われた新聞記事から、既習の人権で守ることが難しい事態が生じていることを学び、課題を捉える。

情報の収集 整理・分析

対策

本単元の学習過程では、個別の知識の獲得を、主に授業以外の場で行い、どの程度知識が定着したのを見取り、満足できない状態であれば、授業でフォローします。

- ②情報を読み取る活動（家庭学習）
教科書を読み、「環境権」と「自己決定権」について、人権の内容をまとめる。

- ③具体的事例を通して、理解を深める活動（授業）
（活動例）
○『「環境権」で他者の所有するマンションの形状を変えさせることは自由権の侵害？』について議論する。
○遺伝子技術に係る資料を読み、グループで「新しい人権」の課題について意見交流する。

生徒が一人で活動する部分や、個別の知識を獲得する活動を、予習として家庭学習が担うことで、主体的な学びを深める時間を確保します。

主対深

- ④考察、判断した結果を表現する活動（家庭学習）
「有名タレントの個人情報公開されても仕方ない？」という意見文を読み、問題点と自分の考えをまとめる。

- ⑤議論を通して、自らの考えを発展させる活動（授業）
（活動例）
○『「プライバシーの権利」によって、どのようなことが守られているのか』について、意見交流する。
○自分の生活で、誰かの「プライバシーの権利」を侵害する可能性について、議論する。

まとめ・ 表現

議論や意見交流の場面では、「現代社会の見方・考え方」を生徒が働かせるように、人権に係る概念的な知識や、よりよい社会の構築等の多様な視点を抛り所に生徒が考えるように、支援することが重要です。



- ⑥考察、判断した結果を表現する活動（家庭学習）
単元を通じた学習課題について、自分の考えをまとめる。

- ⑦単元の学習を振り返る活動（授業）
（活動例）
○「単元を通じた学習課題」について、グループで議論し、全体で交流する。
○「これからの時代、人権を守り育てる上で、どのようなことに配慮すべきか」について、議論する。
○単元の学習を振り返る。